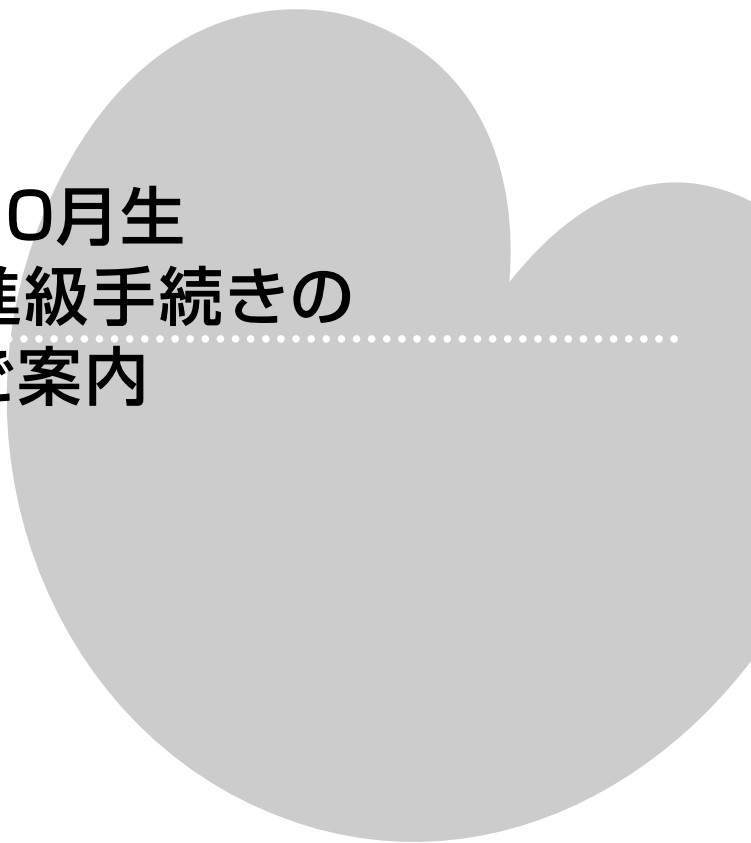


6部

10月生
進級手続きの
ご案内



1 正科生の進級手続き

1 進級手続きの流れ

10月生の進級の流れおよび履修登録の際の諸注意は、『学習の手引き』4章「正科生の進級手続き」や履修登録用紙に同封される手紙をご参照ください。なお、平成27年度学費納入依頼書は7/22に発送済みです。

10月生は9/30まで現在の学年ですが、早めに進級手続きをすれば早めに教科書が届きます（8/20以降発送予定）。また、特例で9/11以降開講のスクーリングについては、下表の日程で諸手続きを行えば、新学年で履修した科目も受講できます。

●スクーリング受講可能日と入金・履修登録期限（正科生の場合）

	学費納入期限	履修登録期限（必着）
9/11～9/27の夏期スクーリングVI	8/6(木)	8/20(木)
特講・福祉心理学1(表情の心理学)	8/17(月)	8/31(月)
10/2～10/25の秋期スクーリングI	8/27(木)	9/10(木)
9/15申込締切の演習Bほか	9/1(火)	9/15(火)
特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学) 10/31・11/1 東京開講	9/16(水)	9/30(水)
オンデマンド・スクーリング11	9/17(木)	10/1(木)
10/30～11/15の秋期スクーリングII	9/24(木)	10/8(木)
オンデマンド・スクーリング12		

(注)「科学的な見方・考え方」のスクーリング日程が10/16～18に、申込締切日が9/10に早まっています。

2 休学希望者

10月からの休学希望者は、『学習の手引き』4章IIを確認のうえ、「休学許可願」（『学習の手引き』巻末）を9/30までに提出してください。「休学許可願」の受理後、休学費納入依頼書（1万円）をお送りいたします（平成17年度以前の入学者は除く）。

注1）休学は1年単位となりますので、復学は早くても平成28（2016）年10/1からとなります。

注2）レポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講はできません（『With』は送付いたします。図書館も利用可能です）。

注3）来年度の学費（8～12万円）は納入しないでください。

注4）9月末までのスクーリングは履修登録済みであれば受講できます。

3 在籍期間満了予定者へのお知らせ

1年後の平成28年9月末で在籍期間が満了（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）となり、退学になる10月生の方は、下記のとおりです。

- ・学籍番号06で始まる正科生で休学したことのない方
- ・学籍番号05で始まる正科生で休学を1回（1年分）した方
- ・学籍番号04で始まる正科生で休学を2回（2年分）した方
- ・学籍番号03で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方

卒業や目指す目的を是非成就していただければ、と心より願っておりますが、学習計画に、下記の点にご注意ください。

- (1) 在籍期間が満了（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）後の休学はできませんので、在籍期間を延長希

望の方は、本年10月～休学をしてください。休学しない場合は来年9月末で在籍期間が満了になります。

- (2) 在籍期間が満了し退学になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでに修得した単位の多くは有効ですが、再入学年度のカリキュラム表にない科目は、一部認定できない科目もあります。

4 転学科希望者

『With』108号 p. 57記載のとおり、転学科を希望する方の応募書類の受付は7/20で終了しました。

5 履修状況票の発送

本年8/31までのレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講の記録を記載した「履修状況票」は10/16に発送予定です。

2 10月に編・再入学を希望する場合

- 科目等履修生から10/1付で正科生1年次・2年次・3年次に(編)入学
- 正科生を退学or卒業し科目等履修生に再入学

以上を希望する場合は、8/31までに「再入学者事前申告書」の提出と、10/15までの出願が必要です(未提出で、9月の科目修了試験受験・スクーリング受講・レポート提出をした場合は、不許可となりますので、ご了承ください。)

- 注1) 出願時の留意点(『学習の手引き』4章III①「正科生への再入学」、
②「科目等履修生への再入学」参照)や『募集要項』をよくお読みい

ただいたうえで出願をお願いします。また、現在の学籍での「退学願」（正科生）、もしくは「学生証返納・修了届」（科目等履修生）の提出も9/30までに行ってください。

注2）再入学すると学費やカリキュラムが変わる場合があります。

【学習上の空白期間のご注意】

学籍に関する手続きには時間を要するため、学習上の空白期間ができ、レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間が発生します。ご了承ください。

(例) 現在の学籍での9月科目修了試験受験者・9月のレポート提出者→
再入学許可時期の関係上、新しい学籍での10月科目修了試験は受験できません。

3 科目等履修生の継続手続き



来年度継続を希望される科目等履修生

【平成24年度入学の10月生科目等履修生の方へ】

学籍番号が12TZで始まる科目等履修生の方は、9/30で一度現在の学籍を修了扱いとさせていただきます。

10月以降も継続して学習することは可能ですが、別途、在籍更新手続きが必要になり、平成27年度入学者のカリキュラムが適用されます（学籍番号は変わりません）。

※ただし、今年度からの在籍更新の特例として、特別支援学校教諭一種免許状取得希望者は、平成26年度入学者に適用される課程認定を受けた科目の履修が可能です。

また、在籍更新手続きにあたっては、在籍更新料30,000円が授業料以外に必要なになります。その後も、3年間在籍することにより在籍更新手続きと在籍更新料30,000円が必要になります。

在籍更新手続きは以下のとおりです。

- ① 8月上旬に大学から発送予定の「在籍更新手続き書類」に必要な事項を記入して返送（10/10まで）
- ② 平成27年度授業料・在籍更新料納入依頼書が届く（①の書類送付後1週間以内にそれぞれ別便にて）
- ③ 平成27年度授業料（1単位あたり6,000円）・在籍更新料（30,000円）納入＝10/20まで【厳守】
- ④ 教科書・レポート用紙・氏名バーコードシール・学生証有効期限シールが届く（授業料納入後10日程度）

注）新年度の履修登録は9/30までの成績が出てから、単位未修得の科目について行ってください。単位修得状況が不明な科目があり、10/10までに在籍更新するか否かの判断がつかない場合は別途ご相談ください。

【平成25年度以降入学の10月生科目等履修生の方へ】

学籍番号が13TZで始まる方は平成28年9/30まで、14TZで始まる方は平成29年9/30まで毎年継続手続きを行えば在籍が可能です。

なお、継続手続きを行わない場合の在籍は9/30までとなります。今年度のレポート提出は8/31まで、科目修了試験受験・スクーリング受講期限は9/10（9月科目修了試験受験科目のレポート提出期限は8/19となることにご注意ください）までとなります。

【現在在籍中のすべての10生科目等履修生の方へ】

在籍期間は9/30までとなります。今年度のレポート提出は8/31まで、科目修了試験受験・スクーリング受講は9/10までできますが、早めにレポートを提出しないと「再提出」の機会がなくなりますのでご注意ください。

平成27年度継続（在籍更新）した場合の留意点は以下のとおりです。

- ・ 1単位あたり6,000円の授業料（在籍更新者は別途在籍更新料30,000円も）が必要です。
- ・ レポート提出期限＝平成28年8/31（ただし9月科目修了試験受験科目のレポート提出期限は8/19となります）
- ・ 科目修了試験受験・スクーリング受講期限＝平成28年9/10

10/1以降、学習の継続を希望される場合は、『学習の手引き』4章Ⅳを参照していただき、8月上旬に大学から発送予定の書類を使用して、遅くとも10/10までに継続（在籍更新）手続きをお願いいたします。

**来年度学習の継続を希望されない科目等履修生**

10/1以降学習の継続を希望されない場合は、『学習の手引き』巻末の様式19「科目等履修生 学生証返納届」と、学生証を返送してください。

単位修得成績証明書の発行をお急ぎの方は、8/31までにレポート提出などを終えてください。9/30の結果判明後、10月初旬には発行します。証明書発行申請は、すべての結果が出てから行ってください。

- ※ 科目等履修生に休学制度はありません。10月以降の継続手続きをしない方は修了扱いとなり、来年以降の学習再開のためには募集要項を取り寄せての再出願が必要です。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●特講（現代社会論）

- ・人間は時代と掛け算しながら歩み、影響されている。社会変動や文化変容から自分史を追ってみると、ポストモダンへ移行する時代に生まれ、「ゆとり」「個性を大切に」「ジェネレーションY」とされる社会に育ってきた。社会学的視点で捉えることで、他の年代との価値観の違いは当然起こりえることだと納得できた。社会学とは自己成長、他者理解において大切な学問だと感じた。
- ・世間を騒がす様々な事件は実は個人的な理由に加え、社会的背景による時代の流れが大きく関与しているという視点に驚きました。今まで触れることのなかった社会学について初めて理解する機会となりました。先生の熱意に感謝いたします。

●社会福祉の基礎

- ・保護が実は人権侵害につながっていることもある…ということが目からウロコで、糸賀一雄さんの話に感動し、自分の中の世界が変わった気がします。世の中の全ては考え方の違い、紙一重で全く生活が変わってしまうものであること、「考え方」の重要さに改めて気づかされました。現在介護職に就いていますが、「障害者であっても、全て人は同じく自分の意志と表現能力を備え、発揮している」という当たり前の姿勢に切り替え、今後の人生を歩みたいと強く感じました。
- ・制度そのものの暗記的な理解ではなく、歴史を学ぶことを通じて社会福祉の本質を教えてください、勉強になりました。ソーシャルワークがミクロからマクロへの円環的連続体であり、ミクロな問題が、ソーシャルアクションや政策提言などの上位の問題により規定されており、そのマクロレベルの解決、働きかけが大切だということに大変共感を覚えました。

●基礎演習

- ・レポートをまとめる手順、コツを知ることができました。グループワークで他の学生と交流が持ててよかったと思います。
- ・同じ志を持った人たちと一緒に課題を取り組み、発表できたことが印象深かった。福祉とはかけ離れた仕事をしていても、時代の変化の中で福祉と接し、それを勉強するきっかけとした方や、福祉の仕事を専門的にしている方が、より高度な福祉実践を目指すために入学した方など、福祉に対する強い志を感じ、そのような方々と一緒に学ぶ機会を持てて良かったと思う。